

① パウエル FRB 議長

パウエル議長は全米企業エコノミスト協会 (NABE) で講演し「物価安定を回復するために必要な政策を採る」と述べ、今後の FOMC で通常の倍の 0.5% の利上げに踏み切る可能性を示唆した。

さらに「一般的な中立金利(景気を冷やしもふかしもしない金利水準)を上回る利上げが必要と判断した場合にはそうするだろう」とも述べ、景気を犠牲にしてもインフレ抑制を優先する姿勢を強調した。

⇒ この発言を受けて、米国債利回りは大幅上昇(債券価格は下落)。

2年債は 2.1% 台となってきました。

また、5年債利回りと 10年債利回りが逆転しています。

明らかに「スタグフレーション」に向かっている兆候です。

米国債券2年利回り			2.111	▲7.87%	+0.154	H:2.136 L:1.960	05:29
米国債券5年利回り			2.319	▲8.22%	+0.176	H:2.340 L:2.143	05:29
米国債券10年利回り			2.297	▲6.93%	+0.149	H:2.320 L:2.148	05:29
米国債券30年利回り			2.525	▲4.43%	+0.107	H:2.556 L:2.425	05:29



② 円安

パウエル議長の発言を受けて、1ドル=119.50円前後まで円安ドル高が進んできました。

豪10年国債利回りは2.695%まで上昇。

豪ドルの過小評価が際立ちます。

ドル円				119.485	▲0.30%	+0.355	H:119.496 L:119.106	05:43
ユーロ円				131.611	▼0.02%	-0.021	H:131.971 L:131.387	05:43
ポンド円				157.28	▲0.22%	+0.35	H:157.50 L:156.39	05:43
スイスフラン円				127.97	▲0.17%	+0.22	H:128.21 L:127.54	05:43
豪ドル円				88.38	▲0.19%	+0.17	H:88.50 L:87.84	05:43

【豪10年国債利回り:3年】



③ 原油 & 金 & 小麦 & CRB 指数

WTI 原油はあっという間に 93ドル台から 110ドルまで戻ってきてしまいました。

極めてボラティリティが高い状態です。

ドル建て金価格は 1935ドル前後。

小麦価格も戻ってきました。

CRB 指数も 300 ポイント近くまで回復。

